

## 資格取得と体験の重要性

新西ゼミ 石田一成

私は昨年10月に宅地建物取引士試験に合格し、宅建士資格を取得した。受験理由は祖父が不動産業を営んでおり、興味が沸き学習することを決めた。本来では一年前から半年前から学習に取り掛かるが私は出遅れてしまい、5月の後半から入塾し学習を始めた。宅建の主な学習方法は独学か資格の学習塾に通うのが一般的である。その中で私は過去の経験から学習が不得意だと認識していたため入塾することを決めた。学習を始めていくうちにいくつか問題が起きた。学習が全く追いつかなかったのである。私は今まで学習をあまりしてこなかったため学習方法がわからず、学習方法から勉強することにした。そうして私は34点をとれるようになった。」34点は宅建試験でギリギリ合格ラインであり都市によって合格点が違うため安心はできなかった。だが安心できる点数を毎回のようにとることはできないまま資格試験に臨んだ。だがやれることはすべて行い合格することができた。

これらの経験から私は、学習方法やモチベーションの保ち方、不動産の知識、民法の知識などあらゆることを身に着けた。その中で一番身についたのが自身である。受験前は受かるなど予想していなかった。ただ私は根拠の無い自信があり合格体験によりその自信が昔より強い自信となった。